

(1) 川口市文化芸術基本計画における令和2年度事業評価結果について

頁	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
全般	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の中止 令和2年度は文化事業の中止が多いように感じた。新型コロナウイルス感染拡大防止のためと思うが、人数制限を設定した音楽会や展示会、少人数のワークショップの開催など感染対策を取りながら実施してほしい。 義務教育での美術・音楽の時間が減少傾向にある中、こうした文化事業が中止になると、子どもたちの文化芸術体験の機会がさらに減ってしまうのではないかと思う。コロナ禍で生活環境は内向きとなっている状況にこそ、芸術文化に触れたり学ぶ機会を設ける必要はあると思う。</p>	<p>いただきましたご意見を各担当課に提案いたします。</p>
5	<p>施策評価結果 ≪全体≫の表中、達成が23/94、未達成が41/94と記載されている。達成（23件）の要因と未達成（41件）の要因について分析されたい。それらの要因を、新年度事業実施の際の参考にされたい。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に申し伝えます。</p>
5	<p>施策評価結果 <担当課別>の中止というのはコロナの影響なのか。中止の比率が多いのだが、コロナ以前の中止とも比較したく感じた。達成数の24.5%も余りに低いこれもコロナの影響か。</p>	<p>指標評価の「達成」の減少及び「中止」の増加については、ほぼ新型コロナウイルス感染拡大防止が影響しております。また、令和元年度は「中止」が2件ありましたが、こちらも新型コロナウイルスの影響によるものです。</p>
5~	<p>施策評価 評価の客観性が今一つわからない。だれがどのような根拠で評価しているのか。</p>	<p>評価については、川口市の行政評価の評価方法にならい、各課自らが評価を行う内部評価を実施しています。</p>
6	<p>文化芸術体験事業、親子ふれあい事業 文化芸術体験事業と親子ふれあい事業と比較すると両方とも実績値が中止とあるのに対して評価が片やD評価であるのに対して一方はA評価であるのが分からない。</p>	<p>担当課によって評価の考え方にばらつきがありましたので、統一させていただきました。</p>
6	<p>鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の提供 川口はアトリアなどの美術・アートに力を置いているが、音楽の公演・ワークショップなどにも注力いただきたい。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
7	<p>情報収集発信事業（文化芸術ニュース発刊） 情報収集・発信の充実 第75回川口市文化祭の実施案内が、「広報かわぐち9月号」掲載されていたが、このコロナ禍において行中止あるいは人数制限して行う等の実施状況の変化があるかと思われるが、それらの情報をホームページ等への誘導で知らせる等の情報提供があったら親切ではないか。 また、情報収集・発信事業で「文化芸術ニュース」の発刊とあるがこれには賛成する。設置箇所数70とあるが、おそらく公民館等への設置配布ではなからうかと思われるが、社会福祉協議会の広報誌は町会への回覧物として回ってくる。ニュース発刊にあたっては、回覧という手段も検討されてはいかがか。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>

(1) 川口市文化芸術基本計画における令和2年度事業評価結果について

頁	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
7	<p>広報およびSNSの積極的利用について 報告書の中で、講座・催し物などの中止の文字が多く見られたが、これは、現在も継続しているコロナ感染に依るものと思われるが、今後もこの状況は続くと思われる。 報告書の中にも触れられているが、このような状況下で尚且つ、今の世の中では、もっともっとSNSの活用が大きな事項ではないかと思う。 例えば、リア、アトリアなどの催し物をそれぞれのサイトで発信する、講座や教育に関してはZOOMなどを整備して、リモートで参加出来るようにする。そして、それらの詳細を市のサイトから市民に分かり易く発信し広報していく。 また、川口市で取り組んでいる報告書の中にあるような事を市のサイトにどんどん取り組んでいき広報に役立てる事など重要と思われる。SNSなどを多く上手に使う事は、今後の大きな課題と思う。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
7	<p>情報収集・発信の充実について 川口市の地域特性上、多言語対応はもう少し進むと良いように思います。 せめてイベントの名称だけでも英語、中文表記を付け加えるなど、できるところから徐々に増やせるとよいと思いました。 また、川口市の人口には近年転居してきた方々が非常に多く含まれています。転入者にもっとわかりやすいインフォメーション、慣れない土地でも参加しやすい環境づくりが進むとよいと思います。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
8	<p>文化芸術活動支援の充実 学ぶ人も良き指導者と学習の場を望んでいると思うが、今後、高齢化で遠くまで足を運ぶことは難しくなる。身近な公民館を利用して巡回展（例えば、市展やミニコンサート）等が行われると楽しむことが出来ると思う。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
8	<p>文化芸術活動支援の充実 川口市内には沢山の芸術家が存在している。コロナで公演が中止になり、困っている方もいるかもしれないので、そのような方に助成制度や東京都の助成事業「アートにエールを」のような取り組みをすれば、アートを知ってもらいきっかけにもなり、広がるのではと思う。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
9	<p>高齢者・障害者の文化芸術活動の促進 高齢者・障害者の文化芸術活動の促進について、評価が、中止、未達成となっている。 新年度、高齢者・障害者対応を積極的に進められたい。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に申し伝えます。</p>
10 27	<p>アートギャラリー事業運営（貸館事業） 各事業の評価でアートギャラリーの事業運営で視点の有効性が7/15で低い、その要因について説明いただきたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、長期の臨時休館期間を設けたことが要因となっております。</p>

令和3年度第1回川口市文化芸術審議会（書面会議）意見・質問等一覧

- (2) 川口市立アートギャラリー令和2年度、令和3年度事業状況について
 (3) 川口市立アートギャラリー令和4年度事業予定について

資料	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
報告 (2) - 1	<p>春の企画展（第9回新鋭作家展「ざらざらの実話」） 独自の企画展の決定は何年前から、又、どのような主旨で決定しているのか。 企画の内容の決定主旨などを知りたい。</p>	<p>この企画展は、アトリアが企画する公募展で約2年前から検討を始め、文化芸術の振興と新鋭作家の発掘・育成を目的としております。優秀者は、アーティストとしての活動の継続性や発展の可能性を重視し、有識者の審査により決定しています。企画の内容は、アーティストがアトリアと協働して地域の方々と関わりあいながら企画をつくり上げております。</p>
報告 (2) - 1	<p>春の企画展（第9回新鋭作家展「ざらざらの実話」） 新鋭作家の発掘と広く市民に知ってもらい交流する機会を創出することは、市独自の地域的な魅力を高めると思うので今後も発展させていただきたい。</p>	<p>新鋭作家展は、事業の見直しにより令和2年度をもって終了いたしました。令和4年度は新規事業として川口の地域性を活かした事業を検討しております。</p>
報告 (2) - 1 (2) - 2	<p>来館者数について 全体として入場者が少なすぎる。少ない入場者のイベントが有ってもよいが、もう少し入場者を見込める企画も必要かと思う。</p>	<p>令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となった事業も多く、入場者数が減少いたしました。今後、企画内容の見直しを図りながら、入場者の増加に努めてまいります。</p>
報告 (2) - 1 (2) - 2	<p>実施状況報告書について アトリアの実施状況の報告は、とてもわかりやすく、各々の規格の効果、感想も詳しく掲載されていた。特にアーティスト・イン・スクールの意義は大きく、子供達に作る喜びを感じてもらえたと思う。 来館者の年代の幅広さも理解した。これからも楽しい企画をたくさんお願いしたい。「新鋭作家展」は廃止されたのか。それに代わる新企画があるのか。</p>	<p>引き続き、わかりやすい報告書の作成を心掛けてまいります。新鋭作品展は、事業の見直しにより令和2年度をもって終了いたしました。令和4年度は新規事業として川口の地域性を活かした事業を検討しております。</p>
報告 (2) - 1 (2) - 2	<p>企画の中止について コロナウイルスの影響で中止になった企画に児童、学生向けのものが多いのが残念だった。インターネット上で開催するものもあるとのことだが、出品する子供たちからすれば千載一遇の大きな晴れ舞台や年に一度の運動部の市大会に相当する展示だったので非常に悔やまれる。 小中学校は活動が個別に行われていることが各校の特色でもあるが、同時に文化芸術振興の度合い、体験のきっかけに格差ができる原因にもなっている。 今以上に市内小中学校の文化活動の中心地としてアトリアが機能し、市内全体の青少年育成、芸術文化振興、人材育成につながるとよい。</p>	<p>今後も引き続き、市内の各学校と連携しながら、児童・生徒の日頃の活動の成果を紹介・発表できる機会を提供してまいります。</p>

令和3年度第1回川口市文化芸術審議会（書面会議）意見・質問等一覧

- (2) 川口市立アートギャラリー令和2年度、令和3年度事業状況について
 (3) 川口市立アートギャラリー令和4年度事業予定について

資料	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
<p>報告 (2) - 2</p>	<p>アーティスト・イン・スクール アーティストインスクールがコロナ禍でも開催されたことは、素晴らしいと思う。 小学校の頃からプロのアーティストと出会い創作体験を共にできる場を提供することは、貴重な機会だと思う。小学校には、美術を専門とする教員が美術の授業を行っていない学校もあるため、こうした企画によってや創作体験や鑑賞について授業の幅が広がるのではないかと感じている。 文化庁では、文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）の中で、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図ること、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としている。とある。 小学校・中学校等での美術教育において、子供たちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保することは、子供たちの豊かな創造力や思考を養うことに繋がりするため、ぜひ、今後も継続して欲しい。</p>	<p>平成18年度から始めましたアーティスト・イン・スクールは、事業の見直しにより令和3年度をもって終了いたします。 今後も引き続き、「中学生のART CLUB展」をはじめ、「小・中・高校硬筆展覧会」、「小・中・高校書きぞめ展覧会」を毎年、開催するとともに、子ども達が質の高い文化芸術を鑑賞・体験できる事業を新たに考えてまいります。</p>
<p>報告 (3)</p>	<p>令和4年度自主事業について 川口ゆかりの作品展は、市民ニーズのさらなる高まりが期待できる企画であり、施設の魅力をより多くの市民に伝えて企画を発展させて欲しい。</p>	<p>企画にあたっては、まだまだ、知られていない川口の美術を市民に紹介できるように努めるとともに、文化芸術の高揚に繋がるように進めてまいります。</p>